



鈴鹿市立愛宕小学校 学校だより

令和3年12月7日 No.9

【教育目標】
知・徳・体の
調和がとれ
主体的・協働的に
行動できる
児童の育成

子どもたちの成長が表れたマラソン記録会

11月30日(火)午前中に、校内マラソン記録会を行いました。記録会の目的は、以下のとおりです。

- (1)自分の体力を考え、苦しい時も自分に負けないで完走しようとする気持ちを育む。
- (2)前回(試走)の記録を超えられるように、自分の成長をめざして一生懸命に取り組む力を養う。

この日に向けて、運動場と体育館前駐車場を組み合わせたコースを試走してタイムをとり、一人ひとりが自分に合ったタイム目標を設定して、全校で運動場を走る練習を重ねてきました。中には、休み時間や放課後に自主的に練習をしていた人もいたそうです。



開会式では、愛宕小の今年の人権標語「くらべない みんなちがって すてきだよ」を取り上げ、人と比べて勝った負けたではなく、自分の体力を知り、自分に合ったペースで走り続け、走ることの気持ちよさを味わってほしいと話しました。順位に関係なく、自分のペースで一生懸命に走り続ける姿は、それぞれ本当に格好いいなと感動しました。

また、一方で、仲間と競争し、ゴール直前まで競い合う姿も見られました。互いに疲れ切っているはずなのに、どこからそんなエネルギーが出てきたのでしょうか。それは、仲間からもらったエネルギーです。ひとりだったら、あそこまで頑張れなかったのではないのでしょうか。勝ち負けに関係なく、互いに「ありがとう」という感謝の心があるからこそ、ゴールした後、仲良く談笑する子どもたちの姿が見られたのだと思います。



加えて、たくさんの保護者の皆様に応援に来ていただき、温かい声援をもらったことも、大きなエネルギーになったのだと思います。自分が応援されているという喜びが、頑張りパワーを生むのです。お忙しい

中、ご来校くださった保護者の皆様、PTA学級委員の皆様、学校運営協議会委員長様、本当にありがとうございました。

「自分に合ったペース」というものは、練習の積み重ねで高めることができます。でも、それには、自分の「楽しい」を少し超えた「少し苦しい」ところに挑む必要があります。自分ひとりだと、苦しくなると、嫌になったりあきらめたりしてしまうものです。でも、その時に、一緒に走ってくれる仲間・応援してくれる人がいたら、「〇〇さんもしんどくても頑張っている」「負けられない」「自分だけやめるわけにはいかない」などと頑張るエネルギーをもらうことができます。今日の子どもたちのたくましい姿は、一人ひとりの頑張りと仲間や応援して下さる人からのエネルギーの相互作用によるものだと思います。



最後になりましたが、子どもたちにもお礼を言いたいと思います。一生懸命に走り続ける姿から、私たち大人もいっぱい元気をもらいました。本当にありがとうございます！

地震・津波避難及び引き渡し訓練を行いました

11月12日（金）、地震・津波避難及び引き渡し訓練を行いました。想定されている南海トラフ巨大地震に備えるもので、津波を避けるために、学校から江島スポーツ総合公園に避難し、そこで子どもたちをご家庭に引き渡すというものです。

13時50分に大地震が発生した想定で訓練が始まりました。子どもたちは、まず一次避難として、教室の机の下にもぐり、落下物等から身を守りました。

揺れが収まったのを確認し、運動場へ二次避難をしました。今回は、そのまま引き渡し訓練を行うため、荷物をもち、靴を履き替えて実施しましたが、本当の地震では、まず命を最優先した行動が必要です。

運動場では、全員が避難できていることを担任と子どもたちで素早く確認することができました。



二次避難と同時に、

三次避難に備えて、係の職員が避難経路の安全確認に出発しています。

三次避難の経路については、自治会長さん、前公民館長さんにもご協力いただき、夏休みに実際に道路を歩いて確認しながら検討会を持ちました。いざというときに最善の避難経路を選定できるよう、校区の道路事情を詳細に掴んでおきたいという思いからです。実際に歩いてみると、高いブロック塀や和風瓦の家屋が道際にあったり、歩道がなかったり、いろいろな発見がありました。また、十分な高さのある愛宕公園や富士見ヶ丘公園へは10分程度で避難でき

ることや、高潮浸水想定区域の確認もできました。もしもの時に、津波の大きさや到達までの時間、天候等を鑑み、どこへどのように非難するか判断するための重要な情報を得ることができました。

今回の訓練では、校長、教頭が先頭となり、江島スポーツ総合公園まで2つの経路で避難を行いました。2つの経路を使用した理由は、以下の2つです。

1つは、訓練時は、道路の信号・線路の踏切が働いていますので、400名以上が1つの経路で行うと、時間がかかったり、待っている場所が十分でなかったりするためです。

2つは、実際に巨大地震が起こった際には、道路の陥没や家屋やブロック塀の倒壊等で道路が通れなかったり、停車した電車で踏切がふさがれていたりすることも予想されます。そこで、選択肢として複数の経路を子どもたちにも経験させておきたかったからです。

実際に巨大地震が起こった際は、信号が点灯しなくなり、踏切は遮断機が下りたままになることもあります。そういった場合は、安全性が高い方の1つの経路で全校が避難した方がよいことも考えられます。また、津波の到達までの時間によっては、校舎の3階や愛宕公園、富士見ヶ丘公園に避難して津波をやり過ごしてから、江島スポーツ総合公園に避難することが必要になることも想定されます。



津波警報等の情報を収集し、津波が約50分で到達することが判明しました。避難経路の確認に行った職員からは、道中に問題がないという報告が携帯電話から入りました。



学年ごとに三次避難に出発です。5名の学習支援・登下校安全安心ボランティアさんが、低学年の各クラスについてくださいました。また、道中の交差点や踏切には、9名の自治会長様、5名のPTA安全安心部の皆様に立っていただき、交通誘導をしていただきました。本当にありがとうございました。

続いて、子どもたちをご家庭へ引き渡す訓練を行いました。大地震により道路が車で通れない状況となっているという想定で、おうちの方には、徒歩で迎えに来ていただきました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

地震は、いつどこで起きるか分かりません。子どもたちも私たち大人も、一人ひとりが自分で考え、行動することが必要になってきます。大切な命を守る

ために、校区をよく知っておき、少しでも高いところ、安全なところに避難できるように、日ごろから考えておくことがいかに大切か、訓練の計画・実施を通して、改めて実感しました。ご家庭でも、お子様といろいろ話し合っただけであれば幸いです。

第3回学校運営協議会のご報告

11月4日(木)、第3回学校運営協議会が行われました。

冒頭、学校運営協議会委員長様から、運動会について「仲間と力を合わせて一生懸命に取り組む子どもたちの姿が素晴らしかった。次年度は、全校一斉に運動場に集える状況になってほしい。」とお話をいただきました。また、ボランティア活動が再開されたことについても、評価いただきました。



続いて、学校長から学校の教育活動についての報告があり、質疑応答が行われました。

(1) 運動会について

- ・ 練習を通して、「団体演技に向けて、仲間と協力して粘り強く取り組み、人前で表現することの喜びを体感できたこと」「運動場の水取等、高学年児童が学校全体のために進んで活動できたこと」といった子どもたちの成長した姿が見られた。
- ・ P T A役員さん方のご尽力で実現したライブ配信が、保護者の皆様からも好評をいただきました。新しい生活様式の中で、I C T技術等を用いた学校の在り方を考える機会となった。

(2) 学力向上について

- ・ 6学年の全国学力・学習状況調査の結果は、点数は県や市の平均値を上回っているが、国語では「記述問題」「緻密な読み取り」「話し合う力」に、算数では「事象を数理的に捉え、見通しをもって筋道を立てて考察する力」「考える過程を数学的な表現を用いて表す力」に課題がある。

また、児童質問紙「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」に対する回答が、県や市と比べて低い数値であった。子ども自身が問いをもち、探究的に楽しんで学ぶことができるよう、授業を改善していく必要がある。

➡ 夏休み、10月に、三重大学教育学部附属小学校の指導教諭を招いて、授業研修会を行った。また、11月には、三重大学教育学部附属小学校のオンライン公開研究会に参加して研修を行い、授業の改善を進めていく。

(3) 学校評価アンケートについて

- ・ 現在、校内各担当により検討を進めている。次回の学校運営協議会に提案をし、承認をいただいてから実施する予定である。また、実施方法については、9月から導入したメール配信システム「マチコミ」を用いること

ができないか検討している。

【委員より】

- ・ マチコミを利用することは、集計作業も簡単になるということなので、教職員の働き方改革にもつながり、よいと思う。
- ・ 児童アンケートでは、chromebook（1人1台支給されている端末）が使えないか。

(4) ボランティア活動について

- ・ 10月16日のボランティア集会を経て、ボランティアさんのメール登録が進み、11月からボランティア活動を徐々に再開している。読み聞かせボランティアさんは、毎週火曜日に活動してもらっている。登校時の見守りも、ご協力いただける方が増えてきている。学校運営協議会委員長様にも参加いただいている。

【委員より】

- ・ ボランティアにメールで連絡をする際、返信の必要の有無をはっきりしてほしい。

(5) 地震・津波避難及び引き渡し訓練について

- ・ 第2経路は、浸水区域を通ることになり、道幅も狭い。信号や鉄道が止まり、実際に避難する際には、児童の安全を確保するためにも、第1経路を第一に考え、全校が1本で避難することが望ましい。



【委員より】

- ・ 実際の地震では、道路の陥没や家屋の倒壊等、様々な障壁が予想されるため、避難経路の選択肢は、できるだけたくさんあった方がよい。ウェルシア前の道路を使用したり、愛宕神社や岸岡山に避難したりすることもオプションとして考えておいた方がよい。
- ・ 子どもたちも、どちらの経路も覚えておいた方がよい。2、3年で、両方の経路を確認できるように訓練を実施してはどうか。
- ・ 子どもたちにも、主体者として危機管理意識をもってほしい。ここで話し合った内容が机上の空論とならないように、子どもたちに考える授業を実施してほしい。
 - ➡ 3年生、4年生が、校区を歩き、総合的な学習の時間を使った子どもたちが主体となった防災学習を進めている。

(6) その他

- ・ 児童の欠席連絡も、マチコミを活用してはどうか。保護者の利便性も踏まえ、SNSの積極的な活用について学校で検討してほしい。

鈴鹿ヴォイス FM「学校だいすき」で愛宕小特集

鈴鹿ヴォイス FM (78.3MHz) のラジオ番組「学校だいすき」が、愛宕小学校を取り上げ、下記の要領で放送を行います。子どもたちから多数の収録参加があり、保護者の皆様にもご支援いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

学校運営協議会委員長様、PTA 会長様にもご出演いただいています。ぜひ、ご聴取いただきますようご案内申し上げます。

【放送日時】

12月1日(水)
8日(水)
15日(水)
22日(水)
29日(水)
各 18:00～18:30

【番組内容】

- (1)オープニング「学校だいすき」(6年生:希望者)
- (2)校歌
- (3)学校あいさつ(校長)
- (4)愛宕小の紹介(児童会代表委員会)
※ 2週目(12/8)と4週目(12/22)に放送します。
- (5)クールチョイス「エコ活動の発表」(全校:希望者)
- (6)学校運営協議会委員長さん、PTA 会長さんへのインタビュー
※ 1週目(12/1)と3週目(12/15)に放送します。
- (7)将来の夢(全校:希望者)
※ 1, 2年生の分は、1週目(12/1)と3週目(12/15)に
3～6年生の分は、2週目(12/8)と4週目(12/22)に分けて放送します。
- (8)英語コーナー(市内 ALT で作成)
- (9)学校からのお知らせ(校長)
- (10)エンディング「校歌」

★ 1週目(12/1)と3週目(12/15)は同じ内容、
2週目(12/8)と4週目(12/22)は同じ内容、
最終週(12/29)は総集編となります。

- 番組の都合により、放送内容が変更になる場合もございます。ご了承ください。
- 番組とは別に、12月中の4時の時報も、愛宕小6年生(希望者)が担当しています。こちらも、ぜひお聞きください。

